

## 住民主体の身近な環境アクションプロジェクト事業

### 取組に至る背景・事業の目的

私たちが住む木曾町は、豊かな緑と水に囲まれ、自然と歴史・文化の調和のとれた美しい町である。しかし、今日、地球温暖化を始め、環境問題は世界的な規模での大きな課題となっている。これらの問題は、便利さや快適さを追求してきた私たちの生活と密接に関わっていることを忘れてはならない。

今後私たちに求められることは、多様な環境問題に適切に対応し、次世代に恵み豊かな環境を引き継いでいくために、住民一人ひとりが「地球に優しい社会と暮らしは何か」を自ら問いかけ、できることから実践していくことである。

地域の中を歩き、今一度、環境という視点から自然を含む地域の良さを見直し、住民の環境問題への関心を高め、住みやすい町づくりに寄与することを目的とする。

### 事業内容

住民が、自らが暮らす地域の豊かな自然環境の実態を知り、見直すために、各種（動物、植物、水質、地質、天体）の野外実習等を実施し、それを将来まで残していく意義や、再生するための事業を実施した。

- 実習A 「春の女神 ギフチョウに会いに行こう」
- 実習B 「城山史跡の森の珍しい植物を観よう」
- 実習C 「川の虫に聴く 水の中の住みごち」
- 実習D 「御嶽山の噴火の様子を調べよう」
- 実習E 「宇宙の散歩 月と星と銀河をめぐる」
- 実習F 「冬の鳥の世界をのぞいてみよう」
- 特別講座「金環日食講習会・指導者講習会」



【実習C（水生生物観察の様子）】

### 事業効果

実習を通して、これまで何気なく見過ごしてきた木曾の自然環境について、その豊かさ、奥深さを実感することができた。

また、実習受講後のレポート作成を通じ、科学的リテラシーに基づいた状況分析を行うことをはじめとして、参加者の環境問題全般にわたる飛躍的な意識向上を見ることができた。

地域の豊かな自然を残していくために、今、私たちができる環境保全活動へ参加していくなど、環境に対する関心を高めることができた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今年度の実施した野外実習を継続しながら身近な自然環境の変遷を調査するとともに、新たな視点からの企画も加え、より内容を充実させていく。また、教育委員会との交流事業として学校の児童・生徒の参加や町内外より多くの人に参加していただき、木曾の自然環境について関心を高め、環境保全活動に参加を求めていく。「きそネイチャーマイスター」の資格認定者には、今後、当事業において指導的立場で環境保全活動を実施してもらう予定である。今後、開催する実習を通して、認定者を増やし地域住民への環境意識の高揚を図っていきたい。

#### 【選定のポイント】

本事業では、趣向を凝らした講座の展開により、平成22年度からの3年間で延べ41人（うち上級16人）のマイスターが養成された。今後、町外での活動も予定されており、マイスターによる自主的な活動の広がりが期待される。

団体名	木曾町環境協議会	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	0264-22-4281（木曾町町民課内）	事業費	1,701,780円
ホームページ	<a href="http://www.kiso-eco.net/">http://www.kiso-eco.net/</a>	支援金額	1,581,000円
メールアドレス	kankyo_ct@town-kiso.net		